

令和6年度指定管理者モニタリング結果

施設名・住所	千歳市営牧場・育成畜舎（千歳市駒里1032番地の1ほか）
指定管理者	公益財団法人道央農業振興公社
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5か年の3年目）
評価担当	産業振興部 農業振興課
1 実施事業及び内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・育成牛の通年管理 放牧 5月15日～10月15日（154日間） 育成畜舎 4月1日～5月14日、10月16日～3月31日（211日間） ・預託牛の入退牧業務 ・預託牛の健康管理及び授精に付帯する業務 ・採草地、飼料畑の生産管理に関する業務 ・農業機械及び牧場施設の管理業務 ・市営牧場利用料の徴収業務 ・管理報告業務 等
2 年間利用頭数	<p>5月の入牧頭数は令和5年度から36頭減少し、継続牛の頭数は19頭増加したことにより、5月末の在頭数は436頭となった。</p> <p>主な利用状況（ ）は令和5年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預入酪農家戸数 15戸（16戸） ・5月在頭数 436頭（453頭）、育成畜舎頭数 286頭（302頭） ・延受入頭数 106,254頭（116,230頭） ・管理施設の利用状況【資料1】
3 事業収支 <決算状況（税込）>	<ul style="list-style-type: none"> ・収入合計 48,688,560円（52,604,054円） （ ）は令和5年度実績 主な内訳 指定管理料 23,967,000円（23,967,000円） 利用料金 23,794,940円（26,180,840円） ・支出合計 47,735,956円（53,955,078円） 主な内訳 人件費等 20,815,881円（22,766,356円） 原材料費 10,820,314円（15,978,282円） ・収入 - 支出 952,604円（1,351,024円） 収支差額の主な要因 （収入減）・利用料金収入 対前年度2,385,900円の減 ・雑収入 対前年度1,529,594円の減 （支出減）・人件費等 対前年度1,950,475円の減 ・原材料費 対前年度5,157,968円の減 ・管理経費の収支状況【資料2】
4 管理運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公共牧場の有効活用を図ることを目的として利用者で組織する千歳市営牧場利用者協議会や石狩農業改良普及センター等の意見を聞きながら、配合飼料の適切な給餌を行い、良好な栄養状態となるよう努めている。 ・管理人住宅に職員1名を常駐し、緊急時の連絡体制を整えている。 ・電気牧柵による放牧地の分割管理を行い、効率的な運用を図っている。 ・専門機関である石狩農業改良普及センターや北海道農業共済組合、北海道石狩家畜保健衛生所と連携し、良好な飼養衛生管理や健康管理に努めている。
5 自主事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・防疫上の観点から自主事業は実施していない。

<p>6 市民サービスの向上を図るための取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・千歳市営牧場利用者協議会から、配合飼料の適切な給餌の要望があることから、配合飼料の給餌を継続するとともに、入牧当初からの発育不全・栄養不良等を解消するため、獣医師の指導のもと対象牛の給餌量を増やすなど個別の対応により発育不良の改善に努めている。
<p>7 評価 <総合コメント></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・繁忙期や緊急時の体制を整え、牧場の適正な管理運営を実施している。 ・放牧地の分割管理や飼槽配置の工夫など、施設の有効活用や効率的な運用に取り組み、利便性の向上に努め、受入希望頭数に対応できている。 ・計画的な草地更新により飼料用牧草が確保されており、粗飼料については十分な供給がされている。 ・配合飼料を増加しており、育成期間における体重増がみられる。 ・事業収支については、利用料金収入は減少したものの、肥料等原材料費が前年度を大きく下回り、収支差額は+952,604円となった。 ・市で実施した利用者アンケートにおいて、「預けて戻ってきた牛の状態」の質問に対し、「満足」から「普通」の回答が8件中4件であった一方、「やや不満」の回答が4件あることから、その改善について指導を行っている。 ・道央農業振興公社が実施したアンケートにおいて、「飼養管理技術のレベルが十分でない」といった意見があることから、その改善について指導を行っている。 ・アンケート調査結果【資料3】【資料4】

管理施設の利用状況

月	令和6年度			
	月初在頭数	入牧頭数	退牧頭数	月末在頭数
4	194	0	62	132
5	132	346	42	436
6	436	0	10	426
7	426	0	36	390
8	390	0	22	368
9	368	0	27	341
10	341	0	55	286
11	286	0	22	264
12	264	0	17	247
1	247	0	28	219
2	219	0	41	178
3	178	0	29	149
計		346	391	

【資料2】

管理経費の収支状況

【収入】

(単位：円)

項目	内 訳	金 額	備 考
受託収入	千歳市営牧場・育成畜舎指定管理料	23,967,000	
利用料金収入	千歳市営牧場・育成畜舎利用料金	23,794,940	
雑収入	貯金利息	12,715	
	デントコーン種子奨励金	59,400	
	配合飼料市況対策費	284,350	
	令和5年度千歳市営牧場光熱費高騰対策	570,155	
	収入合計	48,688,560	

【支出】

項目	内 訳	金 額	備 考
人件費等	給料手当	13,624,729	
	臨時雇賃金	4,348,674	
	法定福利費	2,793,678	健康保険、厚生年金等
	福利厚生費	48,800	職員健診費等
	小 計	20,815,881	
修繕費	農業機械修理	1,453,001	サイロアンローダー修理等
	トラクター等車両修理	1,259,688	トラクター修理等
	小 計	2,712,689	
賃借料	自走給餌車	38,214	自走給餌車リース料
	借上車両・農機具他	101,395	ハイダンブワゴン借上げ等
	小 計	139,609	
車両費	車両費	840,395	農業ダンプ、家畜運搬車車検代等
	車輛任意保険料	120,067	農業ダンプ、トラクター等任意保険料
	小 計	960,462	
施設管理費	機械警備料	281,520	警備保障
	消防設備点検	56,100	消防設備点検等
	小 計	337,620	
原材料費	肥料・種子	10,057,487	肥料、種子、除草剤等
	薬品他	652,227	ロールトワイン、ラップ等
	貯蔵品	110,600	借方996600貸方886000
	小 計	10,820,314	
旅費交通費		0	
研修・講習会費		220,730	中型自動車免許取得
会議費		24,408	入牧前検査時の飲料水等
通信費		137,396	光通信、携帯電話、郵送料等
印刷消耗品費		513,205	作業服、コピー、事務用品等
水道光熱費		1,334,268	電気、水道、LPG等
燃料費		2,396,618	軽油、灯油、ガソリン等
租税・公課		4,500	印紙、証紙代、
負担金		15,000	公共牧場会負担金
図書費		0	
飼料費		2,979,688	鉱塩・配合飼料
手数料		104,827	免軽申請、廃プラ処理等
委託料		1,484,780	NOSAIみなみ業務委託料
消耗備品費		0	
雑費		58,671	牛死亡見舞金等
保険料	損害賠償責任保険	110,190	
消費税		2,565,100	
	支出合計	47,735,956	

【収入】 - 【支出】	952,604
-------------	---------

【参考：令和5年度】

管理経費の収支状況

【収入】

(単位：円)

項目	内 訳	金 額	備 考
受託収入	千歳市営牧場・育成畜舎指定管理料	23,967,000	
利用料金収入	千歳市営牧場・育成畜舎利用料金	26,180,840	
雑収入	貯金利息	189	
	デントコーン種子奨励金	123,750	
	配合飼料市況対策費	298,375	
	肥料価格高騰対策	2,033,900	
	収入合計	52,604,054	

【支出】

項目	内 訳	金 額	備 考
人件費等	給料手当	15,282,167	
	臨時雇賃金	4,520,043	
	法定福利費	2,936,715	健康保険、厚生年金等
	福利厚生費	27,431	職員健診費等
	小 計	22,766,356	
修繕費	農業機械修理	1,749,297	サイロアンローダー等修理
	トラクター等車両修理	751,311	
	小 計	2,500,608	
賃借料	自走給餌車	38,214	自走給餌車リース料
	借上車両・農機具他	106,140	ハイダンプワゴン借上げ等
	小 計	144,354	
車両費	車両費	1,207,954	農業ダンプ、家畜運搬車車検代等
	車輛任意保険料	114,220	農業ダンプ、トラクター等任意保険料
	小 計	1,322,174	
施設管理費	機械警備料	264,000	警備保障
	消防設備点検	33,000	消防
	小 計	297,000	
原材料費	肥料・種子	15,154,810	肥料、種子、除草剤等
	薬品他	923,572	ロールトワイン等
	貯蔵品	100,100	備方896500貸方996600(スタックサイレージ)
	小 計	15,978,282	
旅費交通費			
研修・講習会費			
会議費		22,428	入牧前検査時の飲料水等
通信費		134,347	光通信、携帯電話、郵送料等
印刷消耗品費		445,315	作業服、コピー、事務用品等
水道光熱費		1,292,981	電気、水道、LPG等
燃料費		2,208,424	軽油、灯油、ガソリン等
租税・公課		4,500	印紙、証紙代、未払消費税
負担金		15,000	公共牧場会負担金15,000
図書費			
飼料費		2,576,692	鉱塩・配合飼料購入
手数料		77,869	免軽申請、廃プラ処理等
委託料		1,292,500	NOSAIみなみ業務委託料
消耗備品費		63,888	
雑費		140,760	職員募集チラシ折込料ほか
保険料	損害賠償責任保険	110,190	
消費税		2,561,410	
	支出合計	53,955,078	

【収入】 - 【支出】	1,351,024
-------------	-----------

千歳市営牧場・育成畜舎の運営に関するアンケート調査結果【千歳市実施】

1 アンケート回答率（調査件数 15件 令和7年6月実施）

・回答数 8件 ・回答率 53%

2 アンケート結果

(1) 令和6年度は千歳市営牧場に何頭預けましたか。

0頭～20頭 [4] 21頭～40頭 [3] 41頭～60頭 [1]
60頭以上 [0]

(2) 預けて戻ってきた牛の状態はいかがでしたか。

満足 [0] まあ満足 [1] ふつう [3] やや不満 [4]
不満 [0]

「やや不満」、「不満」の理由

- ・ 個体ごとにばらつきがあり、R6年は事故牛が多く経営的に痛手となった
- ・ 退牧後の個体が小さい、ピンクアイの感染
- ・ やせている
- ・ やや個体によってバラツキがあり、もう少し個体管理について適切に対処してほしい

(3) 令和2年度から夏季入牧を中止しております。感想をお聞かせください。

よく理解する [1]
まあまあ理解する（やむを得ない） [6]
何とも言えない [1]
あまり理解できない [0]
理解できない [0]

(4) 今年度、市では市営牧場の利用料に対して、見直しの検討を開始します。現在の利用料についてご意見をお聞かせください。

大変安価だ [1] 安価だ [3] ふつう [4]
少し高い [0] 高くて困る [0]

(5) 全体的な育成管理状況等について、ご意見等ありましたらお聞かせください。

- ・ 多少費用がかかっても良い状態で退牧したいので期待しています。また、飼養管理の面ではたまにコンサルタントを利用し、職員の知識向上等をはかってみては
- ・ 利用料を見直すのであれば、適切な管理ができて、大切な乳牛を適切に成長管理してもらう前提が条件になると思います
- ・ 総会は四月中旬までにやってほしい
- ・ 特になし

千歳市営牧場の運営に関するアンケート調査結果

公益財団法人道央農業振興公社 実施

回答数・・・・・・・・・・19件 / 34件 (55.9%)

牧場利用者回答数・・12件 / 15件 (80.0%)

アンケート集計結果

- 1 現在、市営牧場を利用していますか。
 - ① 利用している 1 2
 - ② 利用していない 3 (育成牛がいない、内容がよくわからない)
(費用負担が大きい)
 - ③ 利用していたがやめた 2 (頭数減の為)
 - ④ 利用したことはない 2 (牧場内で間に合っている)

- 2 今後、市営牧場を利用しますか。
 - ① 利用を希望する 1 2
 - ② 利用しない 7 (育成牛が少ない、今で十分飼養可能)
(頭数が増えて自家育成しきれない場合、利用したいと思っている)
(現経営では費用負担が大きい)

- 3 市営牧場を利用するにあたっての課題は何ですか。
 - ① 特に問題なく満足している 5
 - ② 施設及び用地が狭い 1
 - ③ 飼養管理技術のレベルが十分でない 4
 - ④ その他
1 (牧場主任の後継者養成が急務)
2 (利用したことが無いのでわからない)
1 (過密で衛生面で不安がある)
1 (牛が痩せている)

- 4 入牧日は、曜日に係らず5月15日とし、都合がつかない場合は個別対応としておりますが時期について伺います。
 - ① 5月15日で良い 1 5
 - ② 変更した方が良い 1 (早すぎる)
(草地の状態によっては、入牧日の変更も考えてはどうか)

- 5 入牧前に実施している、小型ピロプラズマ病原虫寄生率、牛白血病拡散、牛ウイルス性下痢・粘膜症(BVD・MD)感染検査について伺います。
 - ① このままで良い 1 5
 - ② 追加した方が良い 1 (肺炎系)
 - ③ 減らした方が良い

- 6 育成・管理状況・授精・検診について、ご意見がありましたらお聞かせください。
 - ・授精、検診について農済獣医師以外も認めてほしい。
 - ・受胎率が低下している傾向がある。
 - ・獣医師さんとの連絡を密に栄養面も考慮し、育成牛の飼養に尽力いただきたい。
 - ・体高・体重の未熟が一定数あると感じるので月齢内体格が備わっていない場合は、相談いただきたい。

- 7 その他、ご意見・ご要望等ありましたらお聞かせください。
 - ・経費負担を上げてでも、配合飼料の給与を増量して欲しい。
 - ・酪農情勢が厳しい中、農業振興の一助となるべく現料金体系の維持をお願いしたい。
 - ・牧草地の更新をしてほしい。